



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日 東

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱田 矩男
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 管理本部長兼財務部長 (氏名)荻野 守 (TEL)03-3419-7893
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	602,184	7.4	6,110	133.0	9,164	64.9	4,276	41.6
27年3月期第2四半期	560,916	△3.2	2,622	△50.5	5,558	△33.7	3,019	△38.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,829百万円(△64.5%) 27年3月期第2四半期 7,964百万円(154.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	62.06	56.43
27年3月期第2四半期	40.05	40.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	597,681	156,531	26.2
27年3月期	599,950	157,371	26.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 156,493百万円 27年3月期 157,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
28年3月期	—	13.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,250,000	7.6	15,900	58.7	21,800	37.1	11,600	△14.3	168.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期2Q	78,270,142株	27年3月期	78,270,142株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	9,517,435株	27年3月期	8,236,448株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期2Q	68,910,757株	27年3月期2Q	75,388,770株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の医療用医薬品市場は、ジェネリック医薬品の使用促進などの医療費抑制策の影響があったものの、新薬の伸長などにより、前年同期比6.7%（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推計）のプラス成長となりました。

このような状況のもと当社グループでは今後の市場環境の変化に対応するために、引き続き、患者さまや医療機関が抱える問題を解決するための様々な顧客支援システム・サービスの開発・提案に取り組み、医療と健康に関する幅広い分野で存在価値を発揮する付加価値サービス型ビジネスモデルへの変革を推進しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高602,184百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益6,110百万円（前年同期比133.0%増）、経常利益9,164百万円（前年同期比64.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,276百万円（前年同期比41.6%増）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業では、引き続き、適正利益の確保とフィービジネスの拡大に積極的に取り組み、一方でオペレーションコストの低減を図りました。また、調剤薬局業務をトータル的にサポートする「調剤ENI-Pharmaシリーズ」と自動音声認識薬歴作成支援システム「ENIFvoice SP」とを一体化させた提案に注力するなど、独自の顧客支援システムを基軸とした提案型の営業活動を推進しました。

その結果、売上高は577,053百万円（前年同期比7.6%増）、セグメント利益（営業利益）は5,271百万円（前年同期比100.4%増）となりました。

調剤薬局事業においては、業容の拡大を進めるとともに調剤報酬の方向性に対応した店舗運営による収益性改善策と統一化されたシステムによる効率的なオペレーションに取り組みました。

その結果、売上高は47,630百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益（営業利益）は931百万円（前年同期比1,187.4%増）となりました。

治験施設支援事業では、受託が順調に推移した結果、売上高は264百万円（前年同期比87.6%増）、セグメント利益（営業利益）は145百万円（前年同期比282.9%増）となり、情報機器販売事業においては、売上高は622百万円（前年同期比11.2%増）、セグメント損失（営業損失）は57百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、431,661百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が9,098百万円、商品及び製品が3,053百万円それぞれ増加し、現金及び預金が10,155百万円減少したこと等によりります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、166,020百万円となりました。これは、のれんが1,193百万円、投資有価証券が2,830百万円それぞれ減少したこと等によりります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、597,681百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、392,908百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が9,590百万円増加し、未払法人税等が3,246百万円、その他のうち未払消費税等が3,340百万円それぞれ減少したこと等によりります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.9%減少し、48,242百万円となりました。これは、長期借入金が2,296百万円減少したこと等によりります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、441,150百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、156,531百万円となりました。これは、利益剰余金が3,490百万円増加した一方、自己株式が2,828百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1,447百万円減少したこと等によりります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し9,914百万円減少しました。その結果、当第2四半期連結累計期間末の資金残高は30,636百万円(前年同期比10,979百万円増加)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、68百万円(営業活動によるキャッシュ・フローが前年同期比15,252百万円減少)となりました。これは、資金増加要因として、税金等調整前四半期純利益7,790百万円を計上、減価償却費2,303百万円、のれん償却額1,277百万円、投資有価証券売却及び評価損1,219百万円、仕入債務の増加額9,590百万円がありました。資金減少要因として、売上債権の増加額9,097百万円、たな卸資産の増加額3,053百万円、未払消費税等の減少額3,340百万円、法人税等の支払額6,980百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、3,044百万円(投資活動によるキャッシュ・フローが前年同期比1,192百万円増加)となりました。これは、資金減少要因として、有形固定資産の取得による支出3,052百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、6,801百万円(財務活動によるキャッシュ・フローが前年同期比515百万円減少)となりました。これは、資金減少要因として、長期借入金の純減少額2,983百万円、自己株式の取得による支出2,828百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出973百万円、配当金の支払額840百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向および今後の見通し等を勘案し、平成27年5月12日に公表しました平成28年3月期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成27年11月6日)公表しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載してお
ります。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,510	34,354
受取手形及び売掛金	279,119	288,218
有価証券	602	603
商品及び製品	73,229	76,283
その他	32,983	32,599
貸倒引当金	△411	△397
流動資産合計	430,034	431,661
固定資産		
有形固定資産	84,516	84,986
無形固定資産		
のれん	9,108	7,915
その他	3,053	2,730
無形固定資産合計	12,162	10,645
投資その他の資産		
投資有価証券	64,354	61,524
その他	10,664	10,628
貸倒引当金	△1,783	△1,765
投資その他の資産合計	73,236	70,387
固定資産合計	169,915	166,020
資産合計	599,950	597,681

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	360,689	370,280
短期借入金	6,868	6,842
未払法人税等	6,454	3,208
賞与引当金	3,557	3,661
役員賞与引当金	78	38
返品調整引当金	337	354
厚生年金基金解散損失引当金	170	170
資産除去債務	-	28
その他	12,025	8,324
流動負債合計	390,179	392,908
固定負債		
社債	15,071	15,063
長期借入金	8,768	6,471
退職給付に係る負債	1,636	1,705
資産除去債務	1,084	1,078
負ののれん	102	89
その他	25,735	23,833
固定負債合計	52,398	48,242
負債合計	442,578	441,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	47,814	47,814
利益剰余金	95,862	99,352
自己株式	△13,024	△15,852
株主資本合計	141,303	141,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,306	18,859
土地再評価差額金	△4,276	△4,330
その他の包括利益累計額合計	16,030	14,529
新株予約権	37	37
純資産合計	157,371	156,531
負債純資産合計	599,950	597,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	560,916	602,184
売上原価	509,718	548,144
売上総利益	51,197	54,039
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	21,598	20,884
賞与引当金繰入額	3,641	3,644
役員賞与引当金繰入額	39	38
退職給付費用	108	129
福利厚生費	3,968	3,848
車両費	792	652
貸倒引当金繰入額	△60	△24
減価償却費	2,315	2,303
のれん償却額	1,263	1,277
賃借料	3,517	3,480
租税公課	598	719
仮払消費税の未控除費用	2,468	2,599
その他	8,322	8,374
販売費及び一般管理費合計	48,574	47,929
営業利益	2,622	6,110
営業外収益		
受取利息	22	31
受取配当金	640	662
受取手数料	1,425	1,539
負ののれん償却額	287	13
持分法による投資利益	0	22
その他	1,088	1,206
営業外収益合計	3,464	3,476
営業外費用		
支払利息	179	106
不動産賃貸費用	295	229
その他	54	86
営業外費用合計	528	421
経常利益	5,558	9,164

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	44	128
事業譲渡益	96	-
その他	9	23
特別利益合計	150	152
特別損失		
固定資産処分損	84	173
投資有価証券評価損	-	1,219
減損損失	157	128
その他	8	4
特別損失合計	250	1,526
税金等調整前四半期純利益	5,458	7,790
法人税、住民税及び事業税	2,476	3,153
法人税等調整額	△36	360
法人税等合計	2,439	3,513
四半期純利益	3,019	4,276
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,019	4,276

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	3,019	4,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,920	△1,437
持分法適用会社に対する持分相当額	24	△9
その他の包括利益合計	4,945	△1,447
四半期包括利益	7,964	2,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,964	2,829
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,458	7,790
減価償却費	2,315	2,303
減損損失	157	128
のれん償却額	1,263	1,277
負ののれん償却額	△287	△13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49	68
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2	17
賞与引当金の増減額(△は減少)	96	103
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△41	△39
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△178	△32
受取利息及び受取配当金	△662	△694
支払利息	179	106
固定資産除売却損益(△は益)	40	44
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	-	1,219
事業譲渡損益(△は益)	△96	-
売上債権の増減額(△は増加)	20,586	△9,097
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,675	△3,053
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,199	686
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,846	9,590
その他の負債の増減額(△は減少)	△511	△382
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,703	△3,340
その他の損益(△は益)	△2,013	△2,343
小計	16,687	4,341
利息及び配当金の受取額	667	692
利息の支払額	△260	△173
法人税等の支払額	△3,902	△6,980
その他	1,992	2,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,184	△68

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△642	△649
定期預金の払戻による収入	629	890
有形固定資産の取得による支出	△1,390	△3,052
有形固定資産の売却による収入	120	508
無形固定資産の取得による支出	△471	△256
無形固定資産の売却による収入	3	2
投資有価証券の取得による支出	△476	△72
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	9
関係会社株式の取得による支出	△2,311	△236
資産除去債務の履行による支出	△66	△23
貸付けによる支出	△22	△204
貸付金の回収による収入	179	87
その他	211	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,236	△3,044
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,260	825
長期借入れによる収入	280	1,170
長期借入金の返済による支出	△3,559	△4,153
自己株式の取得による支出	△1	△2,828
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△992	△973
配当金の支払額	△754	△840
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,286	△6,801
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,660	△9,914
現金及び現金同等物の期首残高	14,257	40,550
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	42	-
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	697	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,657	30,636

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	515,524	44,839	140	410	560,916	—	560,916
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	20,680	27	—	148	20,856	△20,856	—
計	536,204	44,867	140	559	581,772	△20,856	560,916
セグメント利益又は損失(△)	2,630	72	37	△90	2,650	△28	2,622

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	553,771	47,617	264	531	602,184	—	602,184
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	23,282	13	—	90	23,386	△23,386	—
計	577,053	47,630	264	622	625,570	△23,386	602,184
セグメント利益又は損失(△)	5,271	931	145	△57	6,289	△179	6,110

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。